



「笑顔とつながり」

永田台

ユネスコスクール11周年

No.550 10月号
横浜市立永田台小学校
TEL(714)4277
令和3年10月4日



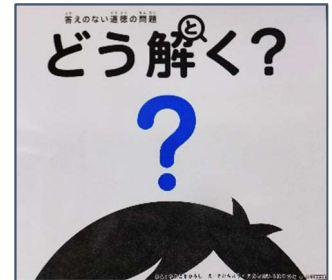
進んであいさつ
笑顔あふれる
住みよいまちに

「どう解く？」～考え、悩み、話し合おう

校長 武山 朋子

夏休み明けは9月1日だったものの、10月4日が、久しぶりに全校児童の登校の実現する日となりました。年度当初の予定では、運動会を週末に実施して、代休のはずだった日です。

本当にこの1年半、想定通りにはいかないことばかりですが、一方でそのことに慣れてきたこともあり、「どうしたらいいかなあ」といろいろな場面で「考える」ことが多くなりました。そんなときに、私はある本に出会いました。「答えのない道德の問題『どう解く？』」(ポプラ社)です。



(あとがきより抜粋)

相手の立場になって考えること。他者を思いやること。そして必ずしも答えは一つではないこと。そんな多様な視点でものごとを判断するチカラが、今の子どもたちから減っているのではないかと考え、この「答えのない道德の問題 どう解く？」が生まれました。…(中略)…思いもよらない発言が出てくることもあるでしょう。こんなこと考えていたんだと気付かされることもあるでしょう。子どもが能動的に考えて、自分なりの答えを導き出す。その姿勢が、これからの時代を生き抜くチカラにつながると思うのです。もちろん、答えが出ないのも、一つの答え。問い自体に疑問をもつのも、一つの答えだと思えます。

そこで、9月の最終週の朝会で、子どもたちにこの本を紹介し、本の中の課題から、A、Bそれぞれのグループに「宿題」を出しました。

Aグループには「**勉強、どう解く？**」「**人が嫌がることはしちゃだめってお母さんは言う。**」「**どうしてお母さんは、ボクの嫌いな勉強を、押し付けてくるんだろう？**」より・・・

Bグループには「**正義、どう解く？**」「**今日もお母さんに怒られた。人を殴っちゃだめって。**」「**どうして正義のヒーローは、悪者を殴っていいんだろう？**」より・・・

さて、子どもたちからはどんな答えが返ってきたでしょう。その一部をご紹介します。

勉強は大人になっても大切だから、いやでもやらないと自分のためにならない。子どもはみんな、押し付けられてでも、やらないといけないと私は思う。

お父さんのげんこつと同じで、「だめだよ」と覚えさせるために殴っている。

答えが一つだったら、こんなに考え込んでないと思う。

勉強

勉強しないといい高校や大学に入れない。

正義

正義のヒーローは全員が大切だから、守るための正当防衛で、大切な人が悪の道に進まないように、時には殴ってでも止めようとしている。

家族で話し合ってみるのはいかがでしょう。ほかにいろいろなお問い合わせがありますよ。